

2025年度二次分析研究会

課題公募型 研究成果報告会

戦後福祉国家成立期の労働・福祉・教育をめぐる
調査データの二次分析

■ 日時/場所 2026年3月9日（月） 14:00~17:00 / オンライン(Zoom)

■ プログラム

司会：瀬戸健太郎（関西大学）

14:00 開会挨拶 石島健太郎（東京都立大学）

14:05 第一部

◆ ソーシャル・ニーズ調査の隘路

——歴史的・学術的背景の考察

岩永理恵（日本女子大学）

◆ ソーシャル・ニーズ調査の同時代的文脈

——1960年代・神奈川県における民生委員の実践に着目して

堀江和正（東京大学）

◆ 生活が困難になるとき、だれに生活を期待するのか？

——高度経済成長期における社会保障意識（仮）

渡邊大輔（成蹊大学）

15:15 第二部

◆ 高度成長期日本における連帯の諸相

小山裕（東京大学）・坂井晃介（神戸大学）

◆ ソーシャルニーズにおける住まいの困りごと・介入・満足

佐藤和宏（高崎経済大学）

◆ 高度経済成長期の貧困転落と貧困脱出における責任・信頼・費用負担の意識の分析

相澤真一（上智大学）

16:15 総括討論

コメンテータ：菅沼隆（立教大学）、上村泰裕（名古屋大学）

16:55 閉会挨拶 石島健太郎（東京都立大学）

■ 参加申込

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターの
WEBサイトをご確認ください。

